

京都府域展開アートフェスティバル「もうひとつの京都」の開催

令和3年6月22日
京都府文化スポーツ部文化芸術課
075-414-4216

京都府では、地域の歴史や風土、生活文化等を題材としたアートプロジェクト「もうひとつの京都」を、日本博の一環として令和元年度から実施しています。

本年度は、府内各地で実施する地域文化と先端技術を組み合わせたデジタルアートによる空間演出や、アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展示等による取組をアートフェスティバルとして位置づけ、府域で一体的に開催しますのでお知らせします。

〇事業概要

1. 催 事 名 京都府域展開アートフェスティバル「もうひとつの京都」
2. 全体テーマ 想像力という＜資本＞
3. 会 期 令和3年9月24日（金）～11月7日（日） ※一部先行開催あり
4. 主 催 京都府、「海の京都」天橋立地区協議会、京都・Re-Search 実行委員会、
京都文化カプロジェクト実行委員会、福知山イル未来と実行委員会
5. 実施内容

アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展覧会

アーティストが一定期間、特定の地域に滞在し、地域交流等を行いながら創作活動を行うことで、地域で幅広い文化芸術に触れる機会を提供し、地域の活性化へ繋げるとともに、その地域の魅力をアートの視点から引き出すことを目指す取組。

■八幡市

- (1) 会 期 令和3年10月1日（金）～11月7日（日）
- (2) 会 場 八幡市内（石清水八幡宮、松花堂庭園・美術館）
- (3) 参加アーティスト いしかわ りゅういち ささき きょうすけ ふじお きょうへい みやもと かずゆき
石川 竜一、佐々木 香輔、藤生 恭平、宮本 一行、
しまぶく みちひろ
島袋 道浩

■京丹後市

- (1) 会 期 令和3年^{10 1}~~9月24~~日（金）～11月7日（日） ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会 場 京丹後市内
- (3) 参加アーティスト サイド コア いしげ けんた たなか りょうすけ わしお れい ビエン
SIDE CORE、石毛 健太、田中 良佑、鷺尾 怜、BIEN 等

■南丹市

- (1) 会 期 令和3年10月1日（金）～11月7日（日） ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会 場 南丹市内
- (3) 参加アーティスト あらき ゆう かめがわ か の くらぎ ゆい こやま わたる やまだ はるえ よう しんか
荒木 悠、亀川 果野、黒木 結、小山 渉、山田 春江、羊 喘兒

■与謝野町

- (1) 会 期 令和3年^{10 1}~~9月24~~日（金）～11月7日（日） ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会 場 与謝野町内（旧加悦町役場庁舎）
- (3) 参加アーティスト アナザー ファーム おさき くしのまさや
ANOTHER FARM（尾崎ヒロミ及び串野真也によるアートユニット）



デジタルアートを活用した夜間コンテンツの創出

地域の歴史や風土、生活文化等を題材とした光や映像、音によるデジタルアート作品の展示を核とする取組。地域の文化財等を幻想的な世界に演出することで、普段とは異なる魅力を知る機会となるとともに、夜間における新たな観光コンテンツの創出を目指す。

■福知山市

- (1) 会 期 令和3年10月^と4日(金)～11月7日(日) ※金土日祝を中心に実施
- (2) 会 場 福知山市内(福知山城公園、旧銀鈴ビル等)
- (3) 参加アーティスト ^{みたに ただし やまなかスープレックス}三谷 正、山中suplex、ヒスロム

■宮津市

- (1) 会 期 令和3年9月24日(金)～11月7日(日)
※砂浜ライトアップは先行開催(7月10日(土)～9月30日(木))
- (2) 会 場 宮津市内(天橋立公園内、元伊勢籠神社、丹後国分寺跡等)、
- (3) 参加アーティスト ^{ひらい まみこ}平井 真美子、^{ながまち しほ}長町 志穂、^{はら まりひこ}原 摩利彦、^{しらきりょう}白木 良、
^{いけだ りょうじ}ヤノベケンジ、池田 亮司



昨年度のデジタルアートを活用した
夜間コンテンツの創出



昨年度のアーティスト・イン・レジデンスを
活用した現代アート作品展覧会



※詳細は、ウェブサイト (<https://alternative-kyoto.jp>) 等で随時お知らせします。

キックオフフォーラム「想像力という＜資本＞—来るべき社会とアートの役割—」

京都府域展開アートフェスティバル「もうひとつの京都」のキックオフとして、コロナ禍で変わりゆく社会におけるアートの役割を取り上げ、オードリー・タン氏(台湾ソーシャル・イノベーション担当デジタル大臣)等の基調講演や、科学、経済、人類学といった領域を超えた対話の場を開くパネルディスカッションから構成されるフォーラムを開催。

なお、本フォーラムは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前収録による動画配信形式で実施。※配信ウェブサイト (<https://alternative-kyoto.jp/news/275/>) 6月22日(火)10時スタート

～新型コロナウイルス感染拡大防止のために～

- ・会場入口等での手指の消毒や検温等を実施します。また室内の展示会場では定期的な換気を行います。
- ・鑑賞時はマスクを着用の上、互いに距離を1～2メートル程度あけるとともに、発熱等の症状がある方の来場は避けていただくよう、特設ウェブサイト等で周知します。
- ・状況に応じ、入場制限を行う場合があります。また予告なく中止する場合があります。

～日本博とは～

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする「文化プログラム」の中核的事業として「日本人と自然」を総合テーマに、文化庁が中心となっており、関係省庁、地方公共団体、民間団体等と連携しつつ、各地域が誇る様々な文化観光資源を年間通じて体系的に創成・展開する大型国家プロジェクト

～アーティスト・イン・レジデンスとは～

アーティストが一定期間滞在し、地域で制作を行い、地域が本来もつポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出す取組(京都府では平成28年度から実施)



2021 年 9 月 17 日（金）

報道関係者各位
PRESS Release 2

京都府域展開アートフェスティバル
ALTERNATIVE
KYOTO
もうひとつの京都

想像力という〈資本〉

Kyoto Prefecture Art Festival "ALTERNATIVE KYOTO"
Imagination as a Form of "Capital"

京都府内 6 エリアにて開催

京都府域展開アートフェスティバル出展概要のお知らせ

京都府（知事：西脇隆俊）では、京都府域展開アートフェスティバル「ALTERNATIVE KYOTOーもうひとつの京都ー想像力という〈資本〉」を、2021 年 9 月 24 日（金）から 11 月 7 日（日）に開催いたします。国内外で活躍する気鋭のアーティストたちによる、地域文化と最先端テクノロジーを融合したデジタルアートや現代アート作品を通して、各地域の特色が現された「もうひとつの京都」をご堪能いただける取組です。

各エリアの概要・作品概要が決定いたしましたので、お知らせいたします。

※緊急事態宣言延長に伴い、会期開始を変更しているエリアがあります。



令和 3 年度 文化庁文化資源活用推進事業

開催概要



京都府域展開アートフェスティバル
ALTERNATIVE KYOTO—もうひとつの京都—
想像力という〈資本〉

開催エリア／参加アーティスト／エリア別会期 2021.09/17 (Fri) 版

海の京都／府北部
Kyoto by the Sea / northern part of the Prefecture

森の京都／府中部
Woodland Kyoto / middle part

お茶の京都／府南部
Kyoto tea Country / southern part

in 京丹後
Kyotango City
・網野町・浅茂川地区
・三津漁港

in 宮津(天橋立)
Miyazu City
・天橋立公園内
・元伊勢神社
・丹波国分寺跡
・天橋立公園内小・天橋立広場

in 与謝野
Yosano Town
・旧加悦町役場庁舎

in 福知山
Fukuchiyama City
・福知山城公園
・伯耆丸公園
・旧銀鈴ビル

in 八幡
Yawata City
・石清水八幡宮(願国殿)
・松花堂庭園・美術館

in 京丹後
SIDE CORE / 石毛健太 / 田中良佑 / 鷺尾怜 / BIEN / DAISAK + NTsKi + 川勝小遙

in 与謝野
ANOTHER FARM (尾崎ヒロキ(スズアノキ)と寺野良樹)

in 南丹
荒木悠 / 亀川果野 / 黒木結 / 小山涉 / 山田春江 / 羊喘児

in 八幡
石川竜一 / 佐々木香輔 / 藤生恭平 / 宮本一行 / 島袋道浩

10/8 (fri) - 11/7 (sun)

in 福知山
三谷正 / 山中suplex

※京丹後、与謝野、福知山、南丹は金・土・日・祝のみ公開。
11.4(Thu)は臨時公開
※会期や時間等は予告なく変更になる場合がございます。
※会期、時間、休館日、内容等、詳細については、
公式WEBをご参照ください。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、実施内容を変更・
中止する場合がございます。予めご了承ください。

京都府域展開アートフェスティバル ALTERNATIVE KYOTO—もうひとつの京都—

全体テーマ | 想像力という〈資本〉

京都府では、「海の京都（府北部）」「森の京都（府中部）」「お茶の京都（府南部）」エリアの歴史や風土、有形文化財や名勝、景観、豊かな自然や生活文化等を題材としたアートプロジェクトを展開してきました。今年度は、想像力を持つアートが新たな資本として、来るべき社会を変えて行く可能性をテーマにアートフェスティバルを開催します。地域文化と先端技術を組み合わせたデジタルアートによる空間演出や、地域文化資源発信型のアーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品展示によって、地域の文化資源の魅力を引き出し、国内外へ発信、観光インバウンドの拡充と地域経済の活性化につながる取組として実施します。

会期 | 2021年9月24日(金)～11月7日(日)

※緊急事態宣言延長に伴い、京丹後・与謝野・福知山エリアの会期を変更いたしました。詳しくは各エリア概要をご覧ください。

実施市町村 | 京丹後市／宮津市／与謝野町／福知山市／南丹市／八幡市

主催 | 京都府／「海の京都」天橋立地区協議会／京都:Re-Search 実行委員会／

京都文化力プロジェクト実行委員会／福知山イル未来と実行委員会

助成 | 令和3年度 文化庁文化資源活用推進事業

関連イベント | ①キックオフフォーラム（オンライン開催）

「想像力という〈資本〉—来るべき社会とアートの役割—」

②アートフェア「Art Collaboration Kyoto」

公式 web | <https://alternative-kyoto.jp/>

Facebook | [alternative.kyoto.AK](https://www.facebook.com/alternative.kyoto.AK) (<https://www.facebook.com/alternative.kyoto.AK>)

Instagram | [@alternative.kyoto](https://www.instagram.com/alternative.kyoto/) (<https://www.instagram.com/alternative.kyoto/>)

Twitter | [@alt_kyoto](https://twitter.com/alt_kyoto) (https://twitter.com/alt_kyoto)

* エリアごとに開催期間が異なります。詳しくはエリア詳細をご覧ください。

* 新型コロナウイルス感染拡大状況により、実施内容を変更・中止する場合がございます。詳しくは公式WEBをご参照ください。

出展アーティスト (25組)

SIDE CORE／石毛健太／田中良佑／鷺尾怜／BIEN／DAISAK+NTsKi+川勝小遙／平井真美子+長町志穂／原摩利彦+白木良／ヤノベケンジ／池田亮司／ANOTHER FARM／三谷正／山中 suplex／ヒスロム／荒木悠／亀川果野／黒木結／小山涉／山田春江／羊喘児／石川竜一／佐々木香輔／藤生恭平／宮本一行／島袋道浩

京都府域展開アートフェスティバル「ALTERNATIVE KYOTO—もうひとつの京都—」は主に2つのプロジェクトで構成しています。

今年度は下記のプロジェクトなどを同時開催し、「想像力という〈資本〉」というテーマの下、京都府内6エリアにて府域展開アートフェスティバルとして開催いたします。

1. アートプロジェクト「ALTERNATIVE KYOTO—もうひとつの京都—」

令和元年より、地域文化に触れる新たな機会を創出し、観光誘客の促進・地域経済の活性化を図ることを目的に、「海の京都（府北部）」「森の京都（府中部）」「お茶の京都（府南部）」各エリアの歴史・風土・有形文化財・名勝・景観・豊かな自然・生活文化等を題材に、デジタルアートによる夜間の空間演出などを行う京都府が日本博の一環として企画・運営するアートプロジェクトです。

2. アーティスト・イン・レジデンス事業「京都:Re-Search」

京都府と府内の市町村とともに平成28年度から実施している、アーティスト・イン・レジデンス事業です。アーティストが一定期間地域に滞在し、その風土や歴史等を調査し、そこでの発見を活かしたアートプロジェクトや作品プランの構想を作成する短期リサーチレジデンス、その翌年度には約2ヶ月間におよぶ滞在制作と、そのプロセスを実施市町村内の各所で展示する『大京都』。地域が本来もつポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出し、広く住民が文化芸術に触れる機会を創出します。



ご来場の皆様へ（新型コロナウイルス感染拡大防止のために）

- お出かけの際は、お住まいやお出かけされる自治体の要請をご確認ください。
- 発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。
- 位置情報活用イベントアプリ「こことろ」へのご登録と来場時のチェックインにご協力ください。
詳細：<https://www.pref.kyoto.jp/kikikanri/coronakinkyurenaku.html>
- 鑑賞時にはマスク着用の上、互いの距離を1～2m程度あけてください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大状況により、実施内容を変更・中止する場合がございます。予めご了承ください。

アーティストの目に映った京丹後の多様な風土・風景を、アートを通じて展開。

in 京丹後／海の京都（府北部）

エリアテーマ | 「風景泥棒 3 -Landscape Rippers 3-」

3年目を迎える京丹後では、「風景泥棒 3 -Landscape Rippers 3-」を開催。実際に何かを盗むのではなく、アートを通じて「風景の見え方を変えてしまう」という意味での「風景泥棒」。実際に京丹後の多様な風土を巡りながら、アーティストそれぞれが京丹後で盗んだ風景を鑑賞する構成にて展開します。

会期 | 2021年10月1日（金）～11月7日（日）

※緊急事態宣言延長により、会期開始を9/24（金）から変更いたしました。

※金・土・日・祝のみ公開（11/4（木）は臨時公開）

時間 | 10:00-17:00（最終受付 16:30）

会場 | 網野町浅茂川地区（元田重機業(株)織物工場・元油善鉄筋工場）
三津漁港（冷蔵庫・荷捌き場）

主催 | 京都:Re-Search 実行委員会（京都府、京丹後市、八幡市、南丹市、与謝野町）

URL | <https://alternative-kyoto.jp/exhibition/kyotango/>

出展アーティスト（6組）

SIDE CORE／石毛健太（ISHIGE Kenta）／田中良佑（TANAKA Ryosuke）／
鷺尾怜（WASHIO Ray）／BIEN／
DAISAK+NTsKi+川勝小遙（KAWAKATSU Koharu）



in 京丹後 作品概要

K-1《岬のサイクロプス 2021》／SIDE CORE

会場 | 元田重機業(株)織物工場 2F（〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 246）

本作は2018年より取り組んでいる、経ヶ岬灯台に関する連作の最終作品です。現代では無人となり、数も減っていく灯台自体を神話の巨人に擬え「岬のサイクロプス」という同タイトルで3年間制作をしてきました。経ヶ岬灯台にアクションを起こす作品から始まり、灯台と周辺の軍事的背景、灯台が建設された厳しい気候や地形やについてなど、灯台を通して見えてきた京丹後の近代史に焦点を当ててきました。制作3年目となる今回は今までのリサーチに加え、過去にあった灯台など海の環境に焦点を当てた新作を展示します。4年間の時間をかけなければ見えてこなかった物事に着目していきます。

画像 | 《岬のサイクロプス 2020》、大京都 2020 in 京丹後



K-2《みえる》／石毛健太

会場 | 三津漁港冷蔵庫（〒629-3111 京都府京丹後市網野町三津 4）

元田重機業(株)織物工場 3F（〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 246）

4年間を通じ、京丹後へ訪れる度にこの地域も自分自身も変化があった、というかここ2年は全てが目まぐるしく変化していた。そういう変わり続ける事柄とは対照的に、ここの空と山と海は初めて訪れた時から今日まで変わることなく鮮烈だった。我々は普段からあまりに多くを観て・視て・診て・見て、結果、ありのままそこで起きていることが「みえる」機会を失っている。「風景を観る」ではなく「光景がみえる」ために、作為を施す以前のここに宿っている事実のために、太陽光の反射が外景として映り込む装置と、太陽光を収斂して発火させる装置を作る。

画像 | 《86%の灯台》2020、大京都 2020 in 京丹後



K-3 《降り積もる影》／田中良佑

会場 | 元油善鉄筋工場 1F (〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 273-1)

僕が今住んでるのは東京だけど、例えば今日人が一人いなくなっても、そこは微動だにしない。だけど、僕が4年通っている京丹後の味土野という山奥の村は、現在移住者の方2人だけが住んでいる場所で(去年は3人だったけど1人出られた)一人の足跡が重い。去った人も今住む人もそれぞれの人生の決断だけど、そこで生きた跡形はやがて消え去ってしまう。僕はそれが名残惜しくて仕方がない。できることならあなたを引き留めたい。積もる話があるわけではないけど、消え去ってほしくない。それは記録としてでなく、消えない影が、そこに降り積もっていてほしい。

画像 | 《Take Me Home (帰る場所を探して) (火を拾いに行こう)》2020、大京都 2020 in 京丹後



K-4 《for mi》／鷲尾怜

会場 | 元油善鉄筋工場 2F (〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 273-1)

刈り払い機で、草を刈っている。刈りやすかったり刈りにくかったりする。臭かったり臭くなかったりする。大きな岩やきれいな花は自然と避けられていく。歩けなかった場所が歩けるようになっていく。こんなに広がったんだか思ったりする。色褪せたボールや毛布のようなものが見つかる。4年の間、あるいはもっと長い間、見過ごしていたものたちが現れてくる。私はここでただ、名前のない日々を過ごした。気づくと、mi がいたんだ。こうして、この場所で出会えることを知っていたかのような。普通の感じで。

画像 | 2021、京丹後、滞在制作の様子



K-5 《15》／BIEN

会場 | 三津漁港荷捌き場 (〒629-3111 京都府京丹後市網野町三津 4)

京丹後の海岸道路沿いに建つ「最北子午線塔」には、日本標準時刻と世界標準時刻であるイギリスにあるグリニッジ天文台の時刻が表示されている。そこを訪れた際に、携帯電話をたしかめると、塔の時刻が15秒ずれていることに気がついた。今や携帯電話で正確な時刻が分かるにも関わらず、記念碑的なオブジェとして、当然正確だと信頼を寄せたその時刻がずれていたことから、当たり前のように規定された時間で生きる自分に気付かされた。本来揃うはずのなかった、かつての「個人」の時間感覚に思いを馳せ、世界と15秒ずれていた京丹後の港で時を刻む。

画像 | 過去作 Art Work Photo by Naoki Takehisa



K-6 《ドルフィン・マン》／DAISAK+NTsKi+川勝小遙

会場 | 元田重機業(株)織物工場 1F (〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 246)

ここ京丹後にはイルカが稀に現れるらしい。作品タイトルの「ドルフィン・マン」とは会場にある小屋に住んでいる男の通称である。近所の人から勝手にそう呼ばれている「ドルフィン・マン」とは一体何をしている人物なのか。誰も詳しく知らないが、仕事なのか趣味なのかイルカに纏わる何かをしていることは間違いない。この作品は学生時代を京丹後で過ごしたNTsKiが、海沿いに住む髭の生えた、謎めいた人物に好奇心を抱いていたという実体験がモデルとなっている。「ドルフィン・マン」は世界中に点在していて、あなたの街にも住んでいるかもしれない。

画像 | 《アパレルショップにしがき》2020、大京都 2020 in 京丹後



▼ 関連イベント

in 京丹後 鑑賞ツアー

日時 | 10月9日(土) 13:00- (予定)

定員 | 10名

※事前申し込み制／ゲスト、ツアー詳細&申込みは公式WEBサイトをご覧ください。

※その他のイベントや、モデルコース、観光情報などは、公式WEBサイトにて随時公開していきます。

in 京丹後 問い合わせ先

京都:Re-Search 実行委員会事務局 (〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町)

TEL | 075-414-4287 (受付 | 平日 8:30-17:00)

Email | bungei@pref.kyoto.lg.jp

豊かな自然や文化財等を活用し、宮津の歴史を光や映像・音を用いたデジタルアートで幻想的に演出。

in 宮津・天橋立／海の京都（府北部）

エリアテーマ | 「天（アマ）への架け橋」

有形文化財や名勝、景観、豊かな自然等を題材としたデジタルアートの世界を体験できる舞台を日本三景の一つ天橋立エリアにて実施。「天（アマ）への架け橋」のテーマの下、光や映像、サウンドを用いたデジタルアートによる幻想的な世界に演出します。

会期 | 2021年9月24日（金）～11月7日（日）

※会期、時間は作品ごとに異なります。

※先行開催中の砂浜ライトアップ《Light and Sound》は7/10（土）～9/30（木）まで開催

会場 | 天橋立公園内／元伊勢籠神社／丹後国分寺跡／天橋立公園内小天橋広場

主催 | 「海の京都」天橋立地区協議会／京都府

URL | <https://alternative-kyoto.jp/exhibition/miyazu-amanohashidate/>

出展アーティスト（4組）

平井真美子（HIRAI Mamiko）＋長町志穂（NAGAMACHI Shiho）

原摩利彦（HARA Marihiko）＋白木良（SHIRAKI Ryo）

ヤノベケンジ（YANOBE Kenji）

池田亮司（IKEDA Ryoji）



in 宮津・天橋立 作品概要

M-1 《Light and Sound》／平井真美子＋ 長町志穂

親しみやすく美しい前向きなメロディーを奏でる作曲家・ピアニスト・平井真美子による新曲と、光の環境をデザインする照明デザイナー・長町志穂が、天橋立の砂浜を音と光の演出で幻想的な世界に創り上げます。

会期 | 7月10日（土）～9月30日（木）※全日開催

会場 | 天橋立公園（〒626-0001 京都府宮津市文珠）

時間 | 19:00-21:00

※緊急事態措置の発令を受け、最終日（9/30（木））までの期間、終了時間を 19:00-22:30 から変更しています。

楽曲 | 『sky fish』平井真美子



M-2 《Altered Perspectives》／原摩利彦＋ 白木良

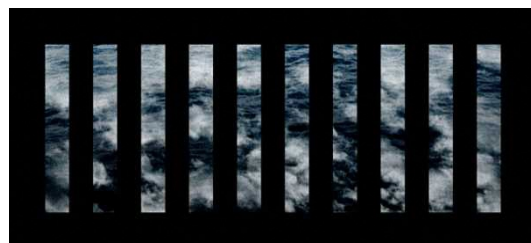
宮津・天橋立エリアの変遷と、参道の延長線が天橋立と交差することから着想を得た音楽家・原摩利彦とプログラマー・白木良によるオーディオビジュアルインスタレーション。この土地をあらゆる方向から見つめ直し、土地に由来するデータとフィールドレコーディングに想像力を加え、プログラミングを用いた映像・音響表現で新しい橋立を描き出すことを試みます。

会期 | 9月24日（金）～11月7日（日）

※金・土・日・祝のみ公開、11/4（木）臨時公開

会場 | 元伊勢籠神社（〒629-2242 京都府宮津市大垣 430）

時間 | 18:00 - 21:00



M-3 《The Dragon Bridge (龍の橋立)》／ヤノベケンジ

丹後の国分寺には、かつて天然痘の流行終息を祈って、七重塔や寺院が建てられたように、今回、国分寺跡地に《ラッキードラゴン》を新型コロナウイルス感染症の流行終息を願って設置します。最終週には龍の口から火を噴き出し、七重塔と天橋立のオマージュとして「炎の塔」「炎の橋」をつくるパフォーマンスを試みます。また、同じく2009年に制作された《黒い太陽》を「金堂」に見立てて設置し、伽藍を形成します。

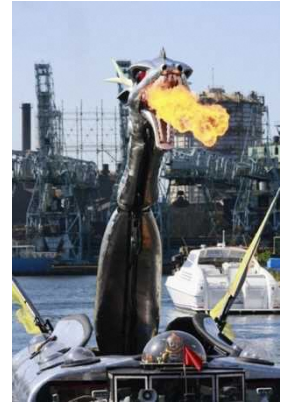
会期 | 9月24日(金)～11月7日(日) ※全日終日展示

会場 | 丹後国分寺跡 (〒629-2234 京都府宮津市国分59)

ライトアップ | 18:00 - 21:00

※11/5(金)～7(日)は、18:00から不定期で《ラッキードラゴン》によるパフォーマンスを実施

画像 | 《ラッキードラゴン》



M-4 《data.flux [LED version]》／池田亮司

日本を代表する作曲家／アーティスト、池田亮司による、不可視なデータを知覚化させ、映像と音響の奔流に身を委ねるサイト・スペシフィックなオーディオビジュアルインスタレーション作品、《data.flux [LED version]》を展示。長さ約24メートルの大きなLEDスクリーンに映し出される映像は、膨大なデータの組み合わせによって構成され、緊密に同期されるサウンドと共に鑑賞者を「完全な感覚体験」へと導きます。

コンセプト、コンポジション | 池田亮司

コンピュータグラフィックス、プログラミング | 平川紀道、徳山知永

会期 | 10月15日(金)～11月7日(日) ※全日展示

会場 | 天橋立公園内小天橋広場 (〒626-0001 京都府宮津市文珠)

時間 | 16:30-21:00



画像 | data.flux [12 XGA version], audiovisual installation, 2017 © Ryoji Ikeda/courtesy of Parallax 2017

in 宮津・天橋立 問い合わせ先

天橋立駅観光案内所 (〒626-0001 京都府宮津市文珠 314-2 天橋立ターミナルセンター内)

TEL | 0772-22-8030 (受付 | 平日 9:00-18:00)

伝統技術×最新テクノロジー。丹後ちりめんなど伝統を育む町で実験的な作品を発表。

in 与謝野／海の京都（府北部）

エリアテーマ | 「シルクロード-Boundaries-」

古来より織物業が営まれ、高級絹織物の丹後ちりめんが地域を支え発展させ、今もなお、機織りの音は途絶えることがない与謝野町。その与謝野にて、アーティスト、尾崎ヒロミ（スプツニ子！）と串野真也とのコラボレーションから生まれたユニット ANOTHER FARM が遺伝子組み換えされた蚕から作られる「光るシルク」を織り込んだ錦織で能装束を制作し、インスタレーションとして展示。伝統的な技術と最新のテクノロジーを駆使した実験的な作品を発表します。

会期 | 2021年10月1日（金）～11月7日（日）

※緊急事態宣言延長により、会期開始を9/24（金）から変更いたしました。

※金・土・日・祝のみ公開（11/4（木）は臨時公開）

会場 | 旧加悦町役場庁舎

時間 | 10:00-17:00（最終受付 16:30）

主催 | 京都:Re-Search 実行委員会（京都府、与謝野町、京丹後市、八幡市、南丹市）

URL | <https://alternative-kyoto.jp/exhibition/yosano>

出展アーティスト（1組）

ANOTHER FARM



in 与謝野 作品概要

YO-1 《Boundaries》／ANOTHER FARM

会場 | 旧加悦町役場庁舎（〒629-2403 京都府与謝郡与謝野町加悦 1060）

人は神の領域に少しでも近づきたいと願う。その願いを実現するために、人は様々な試みを繰り返してきた。人類史のある一面かもしれない。この作品では、人と神の領域を最先端技術と能の媒介によって、境界線をなくす事を試みた。科学技術の進歩は人間の拡張であり、能は神と人が交わる時空間である。海月の遺伝子を組み込まれたカイコは光る糸を吐き出し、その糸で作られた能装束は緑色に光り幽玄の闇に浮かぶ。遺伝子組み換え技術を駆使して作り出された装束を身にまとうことで、人は万物の創造主である神の領域を感じ、どこまで踏み込む事が出来るのだろうか。

画像 | 《Boundaries》2019



▼ 関連イベント

Boundaryless conversation ～境界のない会話～

日時 | 2021年10月16日（土）13:00-

会場 | 臼井織物株式会社工場内（〒629-2302 京都府与謝郡与謝野町下山田 503）

出演 | 細尾真孝（HOSOO） × 串野真也（ANOTHER FARM）

※その他のイベントや、モデルコース、観光情報などは、公式 WEB サイトにて随時公開していきます。

in 与謝野 問い合わせ先

京都:Re-Search 実行委員会事務局（〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町）

TEL | 075-414-4287（受付 | 平日 8:30-17:00）

Email | bungei@pref.kyoto.lg.jp

「光」をテーマに、新進気鋭のアーティストたちによる展示と
福知山城へのプロジェクションマッピングを実施。

in 福知山／海の京都（府北部）、森の京都（府中部）

エリアテーマ | 「余の光 -Light of my World-」

城下町として栄え、山陰、北近畿などへの交通の要所である福知山では、多様なアーティストによる「光」をテーマとした展覧会の実施や、地域の歴史や風土等を題材としたメディアアート作品を夜間の福知山城で展示。創作活動を通じた地域とアーティストとの交流から、場所の文化資本に働きかける新たな機会の創出を図ります。

会期 | 2021年10月8日（金）～11月7日（日）

※緊急事態宣言延長により、会期開始を10/1（金）から変更いたしました。

※金・土・日・祝のみ公開（11/4（木）は臨時公開）

会場 | 福知山城公園／伯耆丸公園／旧銀鈴ビル

時間 | 福知山城公園・伯耆丸公園 18:00-21:00（20:30 最終受付）

旧銀鈴ビル 10:00-17:00（16:30 最終受付）

入場 | 福知山城公園・伯耆丸公園は WEB 事前予約制（入場無料）

旧銀鈴ビルは予約不要（入場無料）

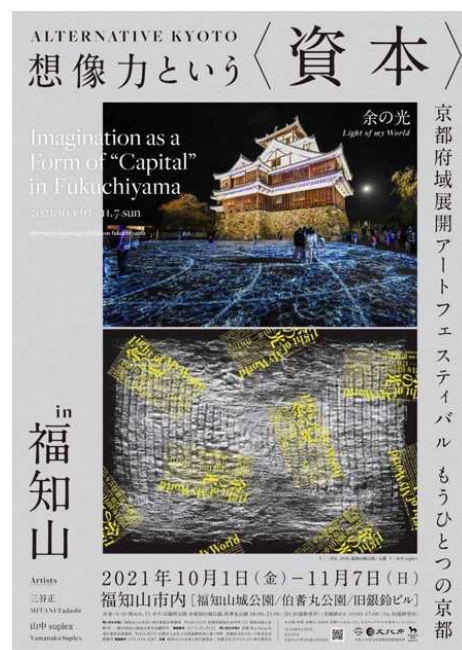
主催 | 福知山イル未来と実行委員会／京都文化力プロジェクト実行委員会

URL | <https://alternative-kyoto.jp/exhibition/fukuchiyama/>

出展アーティスト（2組）

三谷正（MITANI Tadashi）

山中 suplex



in 福知山 作品・展覧会概要

F-1 《Stone >> Cube》／三谷正

会場 | 福知山城公園（〒620-0035 京都府福知山市字内記1）

伯耆丸公園（〒620-0871 京都府福知山市岡ノ二町）

日光があらわにするのは、すでに与えられたストーリーや形状・用途である。一方夜にのみ発されるプロジェクターの人工的な光は、それらを慎重に引き剥がし、本来持つ素質やプリミティブな空間性をほのめかすことができる。

《Stone >> Cube》は、数十台のプロジェクターとスピーカーを駆使し、伯耆丸〔転用石／Cube〕、福知山城〔130mの登坂道／天守前の広場／裏手の石垣〕、対峙するそれぞれの場所で新しい空間を立ち上げさせる。歴史に連なりながらも日中とは用途がずらされたその空間は、「名もなき場所」にのみ現れる。

プロジェクトマネージャー、設営 | 川崎麻耶

ドラマトゥルク | 山崎なし

VFX | Jun Hirao

サウンドプロデューサー | KND

シンセサイザーコンポーザー | Shoichi Murakami

システムプログラミング | 政岡恵太郎

足場設営 | 茨木工業

照明デザイン | 久保綾佳（wakka）

協力 | 足立聖忠

画像 | 2020、福知山城公園



F-2 展覧会《余の光-Light of my World-》／山中 suplex

会場 | 旧銀鈴ビル (〒620-0045 京都府福知山市駅前町 3)

本展「余の光」は、新約聖書にある「汝らは地の塩、世の光である」を出発点に、福知山における「失われた時間」やかつての「人々の往来」を想像しながら、多様なアーティストによる「光」をテーマにした現代美術展です。創作活動を通じたアーティストと地域の交流から、水脈のように横たわっているこの地の文化的資源を発見します。なお、展示会場である旧銀鈴ビルは、かつて人々の生活と一体となった身近な娯楽施設でした。駅前の商店街にて、物理的に燦々と煌めく前時代の象徴を手がかりに、主に絵画や平面という正面性の高い形式を一堂に展示します。

出展アーティスト |

藤倉麻子／後藤拓郎／本田大起／堀内悠希／石黒健一／木村舜／小宮太郎／
テヴィタ・ラトゥ／前谷開／村上美樹／ヒラ・ナビ／小笠原盛久／小笠原周／
タニエラ・ペテロ／リアル・リザルディ／坂本森海／嶋春香／若林亮／吉岡千尋

キュレーター | 堤拓也／慶野結香

グラフィックデザイナー | 吉田勝信

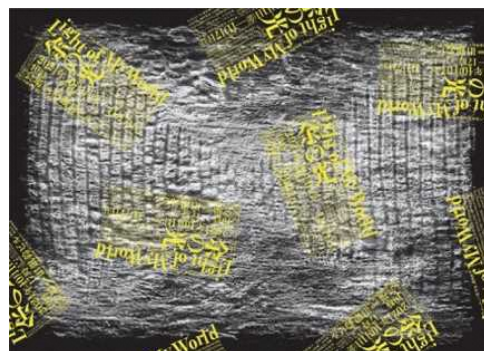
インストレーター | 耕三寺功三

広報・編集 | 平野春菜

キュレトリアル・インターン | 趙悦含／大越円香／郭禹鎬

協力 | アートコートギャラリー／LEESAYA／山山アートセンター

助成 | アーツサポート関西



▼ 関連イベント

ヒスロム オンライン・バスツアー《窯について》

これまで綾部市内各地を散策するなかで、多くの窯元に出会った。その出会った窯元の方を訪ね、巡るオンライン・バスツアーを行います。ツアーでは様々な窯元から教わったことを元に自分たちなりに作った窯を使い、高温の熱を加えることで変化してゆく物質を撮影・記録したものや、制作そのものをパフォーマンスとして発表します。

アーティスト | ヒスロム

実施日 | 2021 年 11 月 4 日 (木) ～ 11 月 7 日 (日)

場所 | 綾部市内よりオンライン配信

※オンラインバスツアー形式で実施。

参加申し込み | <https://alternative-kyoto.jp/news/416/>

※時間等の詳細は、追って上記ページに掲載。



in 福知山 問い合わせ先

福知山イル未来と実行委員会事務局

(〒620-0037 京都府福知山市字中ノ 27 福知山商工会館 3F 一般社団法人福知山青年会議所内)

TEL | 0773-23-2123

商店街の空き店舗等を展示会場に、内藤ジョアンや丹波音頭など地域から着想したアート作品を展示。

in 南丹／海の京都（府北部）、森の京都（府中部）

エリアテーマ | 「南譚：介在する因子」

2020 年度に実施した「京都:Re-Search in 南丹」で、映像作家の荒木悠はじめ 6 名のアーティストが南丹市全域をリサーチ、この地域の新たなアートドキュメント作成のための作品プランを構想しました。それをもとに、今年 8 月から 9 月にかけて約 2 ヶ月間、南丹市八木町に滞在しながら作品を制作しました。内藤ジョアンや丹波音頭など、南丹の歴史文化、地域の人との交流や風景などから着想を得て制作したそれら作品を、JR 八木駅から大堰橋に至る駅前商店街の空き店舗を中心に展示します。

会期 | 2021 年 10 月 1 日（金）～11 月 7 日（日）

※金・土・日・祝のみ公開（11/4（木）は臨時公開）

時間 | 10:00-17:00（最終受付 16:30）

会場 | JR 八木駅周辺各所

主催 | 京都:Re-Search 実行委員会（京都府、南丹市、京丹後市、八幡市、与謝野町）

URL | <https://alternative-kyoto.jp/exhibition/nantan/>

出展アーティスト（6 組）

荒木悠（ARAKI Yu）／亀川果野（KAMEGAWA Kano）／

黒木結（KUROKI Yui）／小山渉（KOYAMA Wataru）／

山田春江（YAMADA Harue）／羊喘兒（YANG Qinhu）



in 南丹 作品概要

N-1 《JB》（新作）ほか《The Last Ball》など全 6 作品／荒木悠

会場 | Cafe HIRANO／YOUR SHISEIDO みの吉／旧小川お茶店／つちや／金龍山 清源寺

外から異物としてやってきた私を、八木の人々は受け入れてくれました。同様に、私の分身である作品群を、この町に同化させてみたい。どれほどその存在感を消して適応させることができるか。この試みは、いわゆる地域芸術祭に期待される賑やかさや活性化とは真逆の位置付けとなることでしょう。あたかも作品がそこにずっと在ったかのような、慎ましくも豊かな風景。この町なら、それを立ち上げることが可能な気がするのです。

画像 | 映像インスタレーション《The Last Ball》2019、資生堂ギャラリー、撮影：加藤健



N-2 《trace JII》、《trace FI:LI》（共に新作）、《文字についての試行》（2021）／亀川果野

会場 | 今西表具店／長屋／川定

《trace JII》《trace FI:LI》南丹には川が多く、人々の生活は昔から川と共にあります。川が気になったのは、私自身の生活でも川がある風景が身近にあったためです。今回、人と川の現在における大きな接点のひとつと言える日吉ダムを起点にリサーチを始めました。筏下り、鮎漁、水害、ダム建設。取材を通して、時代をおって変化する南丹の人々の営みと川との距離感や付き合い方を感じ、私はこれらの在り方は人と人との付き合い方にも似た感覚があると思いました。

これは川をめぐる人と人、人と川との共存について思考し試行した作品です。

画像 | 《文字についての試行》2021、第 24 回広島市立大学芸術学部卒業修了作品展、広島



N-3 《完璧な歴史》(新作)、《LOVE IS OVER》(2017-) / 黒木結

会場 | まるや食堂 / 南丹市役所八木支所 / 今西表具店

《完璧な歴史》八木城にゆかりのあるキリシタン武将、内藤如安にまつわる歴史伝承のプロセスで発生する人々の態度に着目し、作品制作を行う。

画像 | Magazine Sculpture “LOVE IS OVER!” (2017)

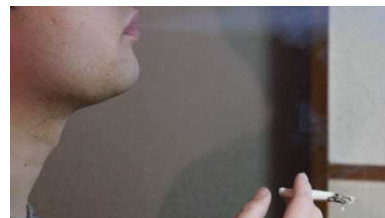


N-4 《Long Vacation》(新作)、ほか2作品 / 小山渉

会場 | 長屋 / まるや食堂タバコ屋 / HACHI_HACHI_蔵

《Long Vacation》この土地で実際に寝泊まりや自炊をして生活を営み、特定の地域のトピックをリサーチするわけでもなく、地域の方とおしゃべりをして、宿泊所の目の前の川を眺めて、ただただ時間を過ごすこの感じは、疎開をしているようでもあり、終りのみえない休暇のように私は感じていた。今回の滞在制作では、パンデミックの現状を背景に、ローカルな土地で日々を過ごした経験を自身の身体的感覚に引き寄せた、“死生観”や“時間”に対してのアプローチを試みる。上記の新作のほかに、今回のテーマに関連した過去作の展示も併せて行う

画像 | 《忘れようとしても思い出せない》2018



N-5 《Song (仮)》、《Windows21_DOLL HOUSE》(共に新作) / 山田春江

会場 | 喫茶こま鳥、HACHI_HACHI_日本家屋

《Song (仮)》民謡が好き。だけどいつから私はこの音に居心地の良さを感じるようになったのだろう。祖父がラジオで毎日聞いていた民謡歌手は、誰だったのだろうか。はっきりと認識されないまま私の一部になってしまったもの。今作品は南丹に約300年前から口伝で継承されてきた民謡「丹波音頭」を取材し、南丹の人々の中に宿っている音の在処を訪ね歩く制作です。当時、丹波音頭を流行らせた謎の道化の存在、田園の中、櫓の記憶。

《Windows21_DOLL HOUSE》小さな路地、とある椅子屋のショーウィンドウの中の婚礼式。花嫁と人形達は夢を見る。映像作品。

画像 | 《Before Becoming a Word》2020、個展「TELL ME YOUR NAME」、クサカベギャラリー / 京都



N-6 《昨日の商品、幽霊劇場》(新作) ほか2作品 / 羊喘兒

会場 | 長屋 / 麻田角店

《昨日の商品、幽霊劇場》

「今日の贈り物は、明日の商品。昨日の商品は明日の美術品。今日のアートは明日のジャンク。そして、昨日のガラクタは明日の家宝。」 — Arjun Appadurai 「The Thing Itself」

この作品では、八木町商店街にある大正時代に開業し、数年前に閉店した金物屋を变身させる。この店舗は未だ一部の商品が残されており、過去のものが残る暗然とした荒野となっている。そんな場所に、特製の音と電力装置を使って、商品としての使命を失った残飯のようなモノたちとつながり、展覧会のまなざしという新しい文脈の中で、社会的な生命を取り戻す。それは幽霊の劇場であり、日常と現実の空間の中で過ぎ去ったものの「生き生きとした姿」の現れである。

画像 | 《endless glory》2021、CALM & PUNK GALLERY、Photo by Naoki Takehisa



▼ 関連イベント

in 南丹 鑑賞ツアー

日時 | 2021年11月3日(水祝) 13:00-

ゲスト | 長谷川新

集合 | JR 八木駅

※その他のイベント等や、モデルコース、観光情報などは、公式WEBサイトにて随時公開していきます。

in 南丹 問い合わせ先

京都:Re-Search 実行委員会事務局 (〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町)

TEL | 075-414-4287 (受付 | 平日 8:30-17:00)

Email | bungei@pref.kyoto.lg.jp

八幡という“場”に添い、相利共生や生活から溢れた物を循環させる営みを深めた作品を発表。

in 八幡／お茶の京都（府南部）

エリアテーマ | 「放生 / 往還」

2020 年度に行った「京都:Re-Search in 八幡」でのリサーチをもとに、地域の新しいアートドキュメントを作成する展覧会を実施します。参加アーティストは、昨年度講師として招き、共に八幡に滞在した石川竜一、島袋道浩を含めた5組のアーティスト。彼らは『放生 / 往還』をテーマに、捨てられる運命にあったモノに別の役目を与え、生活から溢れた物を循環させる営みによって、私たち人間を含めた生命の力強さを再認識できるよう試みます。

未知と既知の経験を往還した各アーティストが、八幡で過ごした「身体の時間」によって、八幡という“場”に添い、地域性や歴史性をより鮮明にし、深めていく作品を発表します。

※「放生（ほうじょう）」とは功德を積むために、捕らえられている魚や鳥などの生物を河・山に放す慈悲行をいう。日本三大勅祭の一つ「石清水祭」の中の放生行事として行われる。

会期 | 2021 年 10 月 1 日（金）～11 月 7 日（日）

会場 | 石清水八幡宮／松花堂庭園・美術館

時間 | 石清水八幡宮（頓宮殿）／9:00-16:00

松花堂庭園・美術館／月休 9:00-17:00（16:30 最終受付）

入場 | 松花堂庭園入園料（大人 100 円・学生 80 円・子ども 50 円）

主催 | 京都:Re-Search 実行委員会（京都府、八幡市、南丹市、京丹後市、与謝野町）

URL | <https://alternative-kyoto.jp/exhibition/yawata/>

出展アーティスト（5 組）

石川竜一（ISHIKAWA Ryuichi）／佐々木香輔（SASAKI Kyosuke）／藤生恭平（FUJIO Kyohei）／
宮本一行（MIYAMOTO Kazuyuki）／島袋道浩（SHIMABUKU）



in 八幡 作品概要

YA-1 《Hōjō ナウ!!》／石川竜一

会場 | 石清水八幡宮 頓宮殿（〒614-8588 京都府八幡市八幡高坊 30）

松花堂庭園・美術館（〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花 43-1）

八幡には巨大な集合住宅・男山団地があり、周辺には主要移動手段である自動車が行き交っています。生活を支える巨大な空間が営まれる一方で、この地には不要になった自動車が全国から集まる資源利用のための工場が運営されています。生活から溢れた物を循環させる営みを支える人々が暮らすこの町は、現代社会の生活が凝縮されているようで、その社会には物が溢れていることを教えられます。そんな生活のそばで生えている野草は、私たち人間を含めた生命の力強さを訴えてきます。八幡の営みから着想を得た彫刻と道端の野草の写真で構成します。

画像 | ©Ryuichi Ishikawa, 2020



YA-2 《scape》／佐々木香輔

会場 | 松花堂庭園・美術館（〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花 43-1）

ここではないどこかを夢みる（そこがどんな風景かはわからない）。現実味に欠けた部屋での暮らし（仮の住処とも思えない）。折り重なった時間が纏わりつく（絶えず後ろをついてくる自分の影）。カメラのファインダー越しに浮かぶ世界（すべては光の粒子となる）。その淡い光のなかに現れる不確かな存在（そして逃避行はいつもうまくいかない）。私はカメラ・オブスキュラという原始的な装置を用いて、八幡の生活者を写し撮る（いつかあなたも、ここを離れてしまうから）。

画像 | 《Space》2020、第22回1_wall展、東京



YA-3 《三川合流シュート》／藤生恭平

会場 | 松花堂庭園・美術館 (〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花 43-1)

京都市内から流れる桂川。滋賀県の琵琶湖から流れる宇治川。三重県や奈良県から流れる木津川。源流が異なる三本の川が八幡市で繋がると聞いたとき、その地点に行ってみたくて思いました。なぜ、目的地を設定し、そこへ向かうのか。そのモチベーション自体の作品化を試みます。三川の合流点へゴールを決めるべく、シュートを放ちます。

画像 | 『京都:Re-search in 八幡 2020』リサーチの様子



YA-4 《共振する躯体》／宮本一行

会場 | 松花堂庭園・美術館 (〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花 43-1)

木津川に架かる上津屋橋は日本を代表する「流れ橋」であり、自然や社会に根ざした造形性と連続性を以って、周辺環境との共存を作り出している。この有機的な側面に着目して、流れ橋との身体的な対話を試みた。橋板を一枚ずつ踏み鳴らしていく行為を通じて、自己の身体だけでなく、他者としての流れ橋と音を生み出す対称性を捉えることができた。この足音は、人間だけではなく流れ橋が環境に発してきた音でもある。本作では、身体的な聴取の経験に基づき、これまで潜在的であった「流れ橋の足音」の豊かさを体験型のインスタレーション作品として提示する。

画像 | 『京都:Re-search in 八幡 2020』リサーチの様子



YA-6 《再生》／島袋道浩

会場 | 石清水八幡宮 頓宮殿 (〒614-8588 京都府八幡市八幡高坊 30)

町を形作る現代では欠かすことのできないコンクリート製の建物。しかし古くなったり、なんらかの理由で役目を終えると解体されて葬られる。そのいわゆる瓦礫を集める。そして捨てられる運命であった瓦礫にもう一度別の役目、命を与え芸術作品として再生させる。瓦礫にもそれぞれの「顔」があり、直立した状態は「生命」を感じさせ、人々にポジティブなエネルギーを送る。モノを立てるという単純な行為は、人間の原始的な行為であり、古代の我々の祖先と現代の私たちを結びつける。この作品は台風で倒壊し断片化した石清水八幡宮の鳥居を再構成した重森三玲の作庭とその思想にも共鳴する。

画像 | 作品イメージ ©島袋道浩



▼ 関連イベント

1. 「耕す_水田跡地活用プロジェクト」

メンバー | 藤生恭平・辻村修太郎・中島明日香 他

会場 | 石清水八幡宮/頓宮横

かつて石清水八幡宮へ奉納する神供米を育てていた遊休農地で、地域の方々と協力して30年ぶりに農作物を作る風景を蘇らせます。

2. in 八幡 鑑賞ツアー

日時 | 10月2日(土) 13:00-

ゲスト | 菅啓次郎(詩人・比較文学者)

集合 | 石清水八幡宮 一の宮

※他、子ども向けワークショップ、イベント、観光情報などは、公式WEBサイトにて随時公開していきます。

in 八幡 問い合わせ先

京都:Re-Search 実行委員会事務局 (〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町)

TEL | 075-414-4287 (受付 | 平日 8:30-17:00)

Email | bungei@pref.kyoto.lg.jp